

---

# 年の瀬に思うこと。

augusu

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

年の瀬に思うこと。

### 【Nコード】

N8816Z

### 【作者名】

augusu

### 【あらすじ】

年の瀬。思うことはありませんか？

## （前書き）

この一年、たくさんの事がありました。  
そして思っのです。その思いを小説にしてみました。

「なあ……俺達の今年って」

男は唐突にそう切り出した。

忘年会の二次会。というには少し洒落たバーに入って、同僚で親友との二人だけの酒の席だった。

「俺達がやった、終えたこの一年って、何か意味があったのかな？」  
酒が入っているせいなのだろう。男はらしくない事を友人に聞いた。

「そうだな……。俺達がやってる仕事なんて、きっと誰でもやろうとすれば出来る事なものな」

「でも、俺達はそれにすがってる。なのに迷ってる。こんな生き方で良いのかなって……。迷ってるのは俺だけ？」

友人はそつと首を横に振った。けれどもすぐには答えを返さない。  
ジャック・ダニエルを、一口。安易に出てこよつとする言葉達を友人はそれで飲み干した。

少し、間を空けて。

「そう思えるなら、来年を変える権利が、お前にはあるんじゃないかな？」

そう切り出した。

「お前は、その権利がないのか？」

「残念ながら、今のまま来年を迎えたいよ」

年の瀬。来年の話は鬼も笑う。友人も笑って表情を砕く。

けれど真剣に男の思いに答えを与える。

「そう思うのなら、お前は来年を信じる義務がある。変えてみせるって信じる。未来を信じる勇気がある。お前にはそれがあるのか？」

「……………分からない」

男は同じくジャック・ダニエルをあおって顔を伏せた。

友人はそれに合わせて同じく飲み干し、おかわりを二杯頼んだ。

またしばしの静寂。

そして友人は自分の思いを口にする。

「確かに思いたくなる酷い年だったよ。けれど、そんな世の中でも俺達は間違えず犯さずやってきたじゃないか」

「迷いを抱く権利は、正しい者にだけあるものだ」

「俺達は正しくやってきた。だから迷っても良いんだ。間違えたって良いんだ。間違えてないんだからさ」

「……そう、なのかな」

「きつと、そうさ」

友人は注がれたジャック・ダニエルを掲げた。

男はその言葉を胸に刻むように……。

キンッ

小さなガラスのぶつかる音が、レイ・チャールズの音楽にこだました。

（後書き）

あなたの一年が、せめて良き日で終わりますように……

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8816z/>

---

年の瀬に思うこと。

2011年12月27日19時50分発行